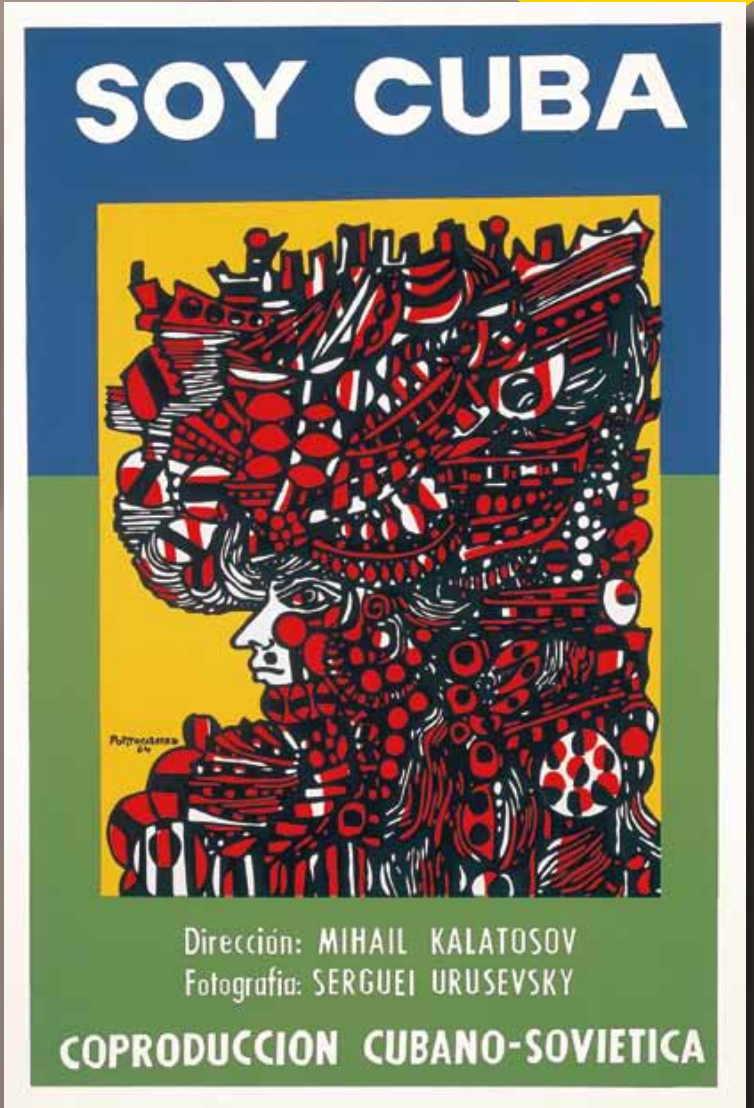


Cuban Film Retrospective

キューバ映画特集

革命映画から映画革命へ

展覧会
 キューバの映画ポスター
 竹尾ポスターコレクションより
 Exhibition:
 Cuban Posters for Films
 From the Takeo Poster Collection
 2016年1月7日(木)ー3月27日(日)
 会場:フィルムセンター展示室(7階)
 *詳細は当該チラシをご覧ください。



怒りのキューバ ポスター: レネ・ポルトカレーロ

キューバは1959年の革命以降、国立の映画芸術産業庁(ICAIC)を拠点に次々と先鋭的な映画を送り出してきた「小さな映画大国」でもあります。展覧会「キューバの映画ポスター」の開催に合わせて、革命初期から1980年代までの重要作を上映し、「革命のための映画」を超えて映画表現自体の革新に至ったキューバ映画の流れをたどります。

N
F
C
小ホール

京橋
映画
小劇場

KYOBASHI-ZA No.32

2016年1月16日(土)ー2月28日(日)

※土曜日・日曜日の上映となります。

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

開映後の入場はできません。

定員=151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

- ・観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- ・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
 The National Museum of Modern Art, Tokyo

小ホール 上映作品

キューバ映画特集 革命映画から映画革命へ Cuban Film Retrospective

1 1/16(土)11:00am 2/7(日)2:30pm 2/27(土)11:00am

エル・メガノ (25分・35mm・白黒) EL MÉGANO
沼地で木炭を採取する労働者の悲惨な生活を捉え、パチスタ政権から上映を禁止されたセミドキュメント映画。プニエール『糧なき土地』の系譜にも連なる、革命キューバ映画の二人の建設者の共同作品。
1955(ICAIC) (原) フリオ・ガルシア・エスピノーサ、トマス・グティエレス・アレア (脚) アルフレド・リグバ、ホセ・マシッブ

われらの土地 (19分・35mm・白黒)
ESTA TIERRA NUESTRA
農民が初めて自分の耕地を得て新しい村の建設を志す。革命最初期の記録映画で、アレアやエスピノーサらは並行して映画芸術産業界(ICAIC)の設立に携わった。
1959(単映映画) (原) トマス・グティエレス・アレア (脚) フリオ・ガルシア・エスピノーサ (脚) ホルヘ・エレラ (脚) ファン・ブランコ (脚) フランシスコ・フォルカデ

レボリューション 革命の物語
(87分・35mm・白黒)
HISTORIAS DE LA REVOLUCIÓN
革命軍の戦闘を「負傷者」「反乱者たち」「サンタ・クララの戦い」の三挿話にまとめた硬質のセミドキュメントで、新政権誕生後の長篇。ローマの映画実験センターでネオレアリズモ映画に学んだアレアたちは『戦火のかなた』の名撮影監督マルテリを招いた(第1・2話)。
1960(ICAIC) (原) トマス・グティエレス・アレア (脚) ホセ・エルナンデス、ウンベルト・アレナル (脚) オテロ・マルテリ、セルヒオ・ベバル (脚) カルロス・ファミリーヤス、レオ・ブローウェル (脚) エドゥアルド・モウレ、リリアン・ジェレーナ、フランシスコ・ラゴ、ミリアム・ゴメス、カリスト・マレーロ、ブラス・モラ

2 1/16(土)2:00pm 2/6(日)11:00am 2/28(日)11:00am
怒りのキューバ (141分・DVD・白黒)
SOY CUBA ★ポスター展示作品
エフトゥシェンコの叙事詩の映画化で、1990年代から世界的再評価の波に浴したソ連との合作。一人称のキューバが語る革命前の四つの光景が、躍動感ある演出とウルセフスキーの超絶的カメラワークで捉えられる。上映バージョンは2005年に復元されたスペイン語版。
1964(ICAIC) (原) モスフィルム (脚) ミハイル・カトローソフ (脚) エヴゲニー・エフトゥシェンコ (脚) エンリケ・ピネダ・バルネット (脚) セルジオ・ウルセフスキー (脚) エヴゲニー・スヴィアテラ (脚) カルロス・ファミリーヤス (脚) セルヒオ・コリエリ、サルバドール・ウツド、ホセ・ガリヤルド、ジャン・ブイエズ、ルス・マリア・コリアソ

3 1/17(日)11:00am 2/6(土)2:30pm
はじめて映画を見た日
(10分・35mm・白黒) POR PRIMERA VEZ
東部山岳地方を訪れた巡回映写班を追った記録で、チャップリンに見入る人々の表情が印象的。テレビ出身で、ブラハで学んだコルタサルの帰国第1回作品。
1967(ICAIC) (原) オクタビオ・コルタサル (脚) ホセ・ロベス (脚) ラウル・ゴメス
低開発の記憶 (96分・DVD・白黒)
MEMORIAS DEL SUBDESARROLLO ★ポスター展示作品
キューバ危機直前の世情にあって、革命にも献身できず、かといってアメリカに逃げる気もない孤独な知的傍観者セルヒオの精神の彷徨を描く。1960年代キューバ映画の成熟を示し、今やラテンアメリカ映画の最重要作の一つと評されている。
1968(ICAIC) (原) トマス・グティエレス・アレア (脚) エドモンド・デス・エス (脚) ラモン・F・スレス (脚) フリオ・マティエリヤ (脚) レオ・ブローウェル (脚) セルヒオ・コリエリ、ティジー・グラナドス、エスリンダ・ヌニェス、オマル・バルデス、レネ・テラ・クルス

4 1/17(日)2:00pm 2/7(日)11:00am 2/27(土)2:00pm
ルシア (160分・35mm・白黒)
LUCIA ★ポスター展示作品
スペイン植民地だった1895年、アメリカ支配が強まる1932年、そして革命の1960年代という三つの時代を生きた三人の「ルシア」を通して、キューバ女性の愛と自立を謳ったオムニバス巨篇。26歳のソラスによる時に荒々しく時にロマンティックな演出が鮮烈。
1968(ICAIC) (原) ウンベルト・ソラス (脚) フリオ・ガルシア・エスピノーサ、ネルソン・ロドリゲス (脚) ホルヘ・エレラ (脚) ロドリゲス・ガルシア・エスピノーサ (脚) レオ・ブローウェル (脚) ラケル・レプエルタ、エスリンダ・ヌニェス、アデーラ・レグラ、エドゥアルド・モウレ、ラモン・プリト、アドルフ・ジャウラード

5 1/23(土)11:00am 2/14(日)2:00pm
第三世界・第三次世界大戦
(90分・35mm・白黒)
TERCER MUNDO, TERCERA GUERRA MUNDIAL
ベトナム戦争におけるアメリカの北爆停止を受けて、キューバの撮影隊が現地でも撮った映像をまとめ、アメリカの戦略と北ベトナムの反応を分析するエスピノーサの記録映画。ニュース映画「ICAIC ラテンアメリカ・ニュース」でも知られるキューバは、アジア、アフリカの解放闘争にも撮影隊を派遣した。
1970(ICAIC) (原) フリオ・ガルシア・エスピノーサ (脚) ミゲル・トレス、ロベルト・フェルナンデス・レタマル (脚) イバナ・ナボレス、ルイス・コスタレス

6 1/23(土)2:00pm 2/13(土)11:00am 2/28(日)2:30pm
最後の晩餐 (113分・35mm・カラー)
LA ÚLTIMA CENA ★ポスター展示作品
18世紀末、サトウキビ園を経営する伯爵は、キリストの「最後の晩餐」を模して12人の奴隷を豪華な夕食に招待する。伯爵が語る「神学」にもかかわらず、最後には反逆と弾圧の血なまぐさい戦争に突入する。複雑な論理の衝突をさばいたアレア監督の厚重な演出が光る。
1976(ICAIC) (原) トマス・グティエレス・アレア (脚) トマス・ゴンサレス、マリア・エウヘニア・アヤ (脚) マリオ・ガルシア・ホヤ (脚) カルロス・ファミリーヤス (脚) レオ・ブローウェル (脚) ネルソン・ピジャグラ、シルバノ・レイ、ルイス・アルベルト・ガルシア、ホセ・アントニオ・ロドリゲス、サムエル・クラクストン

7 1/24(日)11:00am 2/13(土)2:00pm
天国の晩餐 (112分・35mm・カラー)
LOS SOBREVIVIENTES ★ポスター展示作品
革命などつづれると信じてキューバに留まった歴史あるオロスコー一族。闇物資を手にし、アメリカの侵攻事件にも喜ぶ正当だが、革命政権は倒れない。一家の生活は苦しくなり、召使やお抱えの農民も逃げてゆく。世の中から隔絶した豪邸を舞台に、プニエール作品を思わせるブラックな感覚に満ちた作品。
1978(ICAIC) (原) トマス・グティエレス・アレア (脚) アントニオ・ベニデス・ロホ、コンスタンテ・ディエゴ、マリア・エウヘニア・アヤ (脚) マリオ・ガルシア・ホヤ (脚) ホセ・M・ビラ (脚) レオ・ブローウェル (脚) エンリケ・サンティエスタバン、アナ・ビーニャ、レイナルド・ミラバジェス、ファニータ・カルデビージャ、ヘルマン・ピネリ

8 1/24(日)2:00pm 2/14(日)11:00am
フルカント (96分・35mm・カラー)
EN TRES Y DOS
球界の花形として活躍しながら、引退を控えた黒人のスター選手ロベスが人生最後の打席に臨む。キューバ野球界を背景に、ひとりの黒人選手の人生模様を綴ったドラマで、キューバ初のボクシング世界王者キッド・チョコレートなど新旧のスポーツ選手もゲスト出演。
1985(ICAIC) (原) ローランド・ティアス (脚) エリセオ・アルベルト・ディエゴ (脚) ジェルモ・センテノ (脚) ルイス・ラコスタ (脚) ホセ・マリア・ピエディエル (脚) サムエル・クラクストン、イレラ・プラーボ、マリオ・バルメサ、アレハンドロ・ルゴ、エルビラ・セルバ

9 1/30(土)11:00am 2/21(日)2:00pm
ダビドの花嫁 (99分・35mm・カラー)
UNA NOVIA PARA DAVID ★ポスター展示作品
1967年、ハバナの全寮制高校に転入したダビドに、級友たちがクラスで評判の美人オルガをくっつけようと画策する。ひとりの少年が恋愛や性に目覚める様子を1960年代のヒット曲に乗せて描いた学園ドラマで、ウンベルト・ソラスなどの助監督だったロハスの初の長篇。
1985(ICAIC) (原) オルランド・ロハス (脚) セネル・パス (脚) リビオ・デルガード (脚) デルビシ・ハコメ (脚) パブロ・ミラネス (脚) ホルヘ・ルイス・アルバルス、マリア・イサベル・ティアス・ラゴ、フランシスコ・ガットルノ、エディット・マッソーラ、タイス・バルデス

10 1/30(土)2:00pm 2/20(土)11:00am
成功した男 (109分・35mm・カラー)
UN HOMBRE DE ÉXITO
1930年代から革命期まで、時代ごとの権力者に取り入り続けたかに生き抜いたプレイボーイの生き様を痛烈に皮肉ったドラマ。イタリアの作曲家ルイジ・ノーノが参加、他にも革命前のキューバ音楽、マンボやプレスリーのナンバーまで取り入れた音楽構成も魅力で、ソラス監督の円熟を示した。
1986(ICAIC) (原) ウンベルト・ソラス (脚) ファン・イグレスィアス (脚) リビオ・デルガード (脚) デルビシ・ハコメ (脚) ルイジ・ノーノ (脚) セザール・エボラ、ティジー・グラナドス、ルベンス・デ・ファルコ、ホルヘ・トリンチェット、マベル・ロチェ、ラケル・レプエルタ

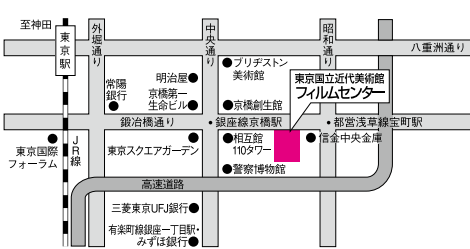
11 1/31(日)11:00am 2/20(土)2:00pm
危険に生きて (92分・35mm・カラー)
CLANDESTINOS
革命闘争の最盛期、投獄された青年活動家と彼を訪れた娘が遠かれ合う。当時行われた革命派の宣伝手法を脚本に活かしつつ、街頭の戦闘シーンも盛り込んだ青春映画。ニュース映画の経験もあるベレスの初の長篇で、以降も現代キューバの看板監督として『永遠のハバナ』(2003年)などで気を吐く。
1987(ICAIC) (原) フェルナンド・ベレス (脚) ヘスス・ティアス (脚) アドリアーノ・モレノ (脚) エデシオ・アレハンドロ (脚) ルイス・アルベルト・ガルシア、イサベル・サントス、スサーナ・ベレス

12 1/31(日)2:00pm 2/21(日)11:00am
公園からの手紙 (90分・35mm・カラー)
CARTAS DEL PARQUE
1913年、空を飛ぶという夢を持つマタンサスの青年ファンが自分の姿を見守るマリアと恋におちる。二人は恋文を代筆屋ペドロに頼むが、彼は自身のマリアへの恋心を手紙に記すようになる。ガルシア＝マルケスの原作を元に、三角関係をロマンティックに綴るスペインとの合作。
1988(ICAIC) (原) テレビジョン・エスパニョーラ (脚) トマス・グティエレス・アレア (脚) ガブリエル・ガルシア・マルケス (脚) エリセオ・アルベルト (脚) マリオ・ガルシア・ホヤ (脚) フェルナンド・ベレス・オリベ (脚) ゴンサロ・ルバルカバ (脚) ビクトル・ラブラーセ、イボンネ・ロベス、ミゲル・パネケ、ミルタ・イバラ

■(原)＝監督・演出 (原)＝原作・原案 (脚)＝脚本・脚色
◎＝撮影 (美)＝美術 (音)＝音楽 (出)＝出演 (解)＝解説
■上映作品にはすべて日本語字幕が付いています。
■特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

	土曜日	日曜日	
1月	1 11:00am レボリューション 革命の物語 他	3 11:00am 低開発の記憶 他	
	2 2:00pm 怒りのキューバ	4 2:00pm ルシア	
	5 11:00am 第三世界・第三次世界大戦	7 11:00am 天国の晩餐	
	6 2:00pm 最後の晩餐	8 2:00pm フルカント	
	9 11:00am ダビドの花嫁	11 11:00am 危険に生きて	
	10 2:00pm 成功した男	12 2:00pm 公園からの手紙	
	2月	2 11:00am 怒りのキューバ	4 11:00am ルシア
		3 2:30pm 低開発の記憶 他	1 2:30pm レボリューション 革命の物語 他
		6 11:00am 最後の晩餐	8 11:00am フルカント
		7 2:00pm 天国の晩餐	5 2:00pm 第三世界・第三次世界大戦
10 11:00am 成功した男		12 11:00am 公園からの手紙	
11 2:00pm 危険に生きて		9 2:00pm ダビドの花嫁	
1 11:00am レボリューション 革命の物語 他	2 11:00am 怒りのキューバ		
4 2:00pm ルシア	6 2:30pm 最後の晩餐		

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。



フィルムセンター 〒104-0031東京都中央区京橋3-7-6
▼交通:
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線京町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八洲口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600
NFCホームページ: <http://www.momat.go.jp/>